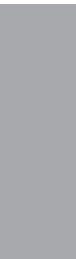


# 資料編

- 1 諮問
- 2 答申
- 3 策定に係る審議会等名簿
- 4 策定経緯
- 5 総合計画を各分野で推進する主な個別計画等
- 6 市民意識調査の結果（概要）



## 1 諮問

水企第643号  
平成25年12月25日

水俣市総合計画策定審議会  
会長 明石 照久 様

水俣市長 宮本 勝彬

第5次水俣市総合計画基本構想（案）及び第2期基本計画（案）について  
（諮問）

水俣市総合計画策定審議会条例第2条の規定に基づき、第5次水俣市総合計画基本構想（案）及び第2期基本計画（案）について、貴審議会に諮問いたします。

## 2 答申

平成26年3月4日

水俣市長 西田 弘志 様

水俣市総合計画策定審議会  
会長 明石 照久

第5次水俣市総合計画基本構想（案）及び第2期基本計画（案）について  
（答申）

平成25年12月25日付け水企第643号で諮問がありました、第5次水俣市総合計画基本構想（案）及び第2期基本計画（案）について、慎重に審議を重ねた結果、その内容は適切であると認め、ここに答申します。

なお、計画の推進にあたっては、本審議会での審議経過を尊重するとともに、特に下記の事項に配慮されますよう要望します。

### 記

#### 1 総論

第5次水俣市総合計画第1期基本計画期間においては、「日本の環境首都コンテスト第10回」において、“日本の環境首都”の称号を獲得するなど、一定の成果が出ていると思われま

す。しかしながら、依然として地域経済の活性化や雇用の創出、少子高齢化等本市を取り巻く課題は残されており、その対応が望まれます。

今後、第5次水俣市総合計画第2期基本計画の推進にあたっては、本審議会において各委員から示された意見や提言、市民意識調査で明らかになった市民の要望や意見等を十分考慮され、計画の進捗管理を適切に行い、引き続き目指す将来像「人が行きかい、ぬくもりと活力ある『環境モデル都市みなまた』」の実現に向け取り組んでいただくよう要望します。

#### 2 各論

「人と豊かな環境が共生するまち」

水俣病問題の解決に努めるとともに、これまでの環境への取り組みを継続・発展させることで、“環境首都”の名にふさわしい、内外の模範となる環境のまちの実現への取り組みを推進するよう要望します。

「豊かさと活気を実感できるまち」

本市の特性や資源を活かし、企業誘致等による雇用の充実や観光による交流人口の拡大など、地域の産業活性化につながる施策を推進していただくよう要望します。

「安全で心安らかにいきいきと暮らせるまち」

市民の安全を守り、高齢者や障がい者等誰もが安心して快適に暮らせるまちづくりを推進していただくよう要望します。

「郷土の新しい公共を担う人を育てるまち」

これからの水俣を担う人間性豊かな子どもたちの育成と、地域づくりに寄与する人材育成を推進していただくよう要望します。

「自立した行政システムと市民参画のまち」

健全な財政運営に努めるとともに、市民がまちづくりに積極的に参加する、市民参画によるまちづくりを推進していただくよう要望します。

以上

### 3 策定に係る審議会等名簿

#### (1) 水俣市総合計画策定審議会

氏 名	所 属 等	条例における累計 (第3条第2項)
明石 照久 ◎	熊本県立大学総合管理学部教授	学識経験者
上野 義郎	水俣商工会議所常議員	その他市長が適当と認める者
緒方 正実	水俣病資料館語り部の会会長	その他市長が適当と認める者
川上 紗智子	市議会議員	市議会議員
河田 奈保子	水俣市教育委員	その他市長が適当と認める者
窪田 宣理	水俣青年会議所理事長	その他市長が適当と認める者
小島 直美	水俣市健康づくり推進協議会	その他市長が適当と認める者
清水 和行	あしきた農業協働組合水俣基幹支所支所長	その他市長が適当と認める者
田中 希美	公募委員	その他市長が適当と認める者
棚橋 康子 ○	水俣市地域婦人会連絡協議会会長	その他市長が適当と認める者
福田 斉	市議会議員	市議会議員
松永 和典	水俣市PTA連絡協議会会長	その他市長が適当と認める者
松永 康生	みなまた観光物産協会会長	その他市長が適当と認める者
本山 祐二	水俣市総務企画部長	その他市長が適当と認める者
山田 吉二	水俣市自治会会長	その他市長が適当と認める者

※ 50音順。表中氏名欄の◎は会長、○は副会長。

## (2) 庁議メンバー

職 名	氏 名
市長	西田 弘志 (前市長： 宮本 勝彬)
教育長	葦浦 博行
総務企画部長	本山 祐二
福祉環境部長	宮森 守男
産業建設部長	門崎 博幸
医療センター事務部長	渕上 茂樹
議会事務局長	田畑 純一
水道局長	前田 仁
総務課長	本田 真一
財政課長	坂本 禎一
企画課長	川野 恵治

## (3) 水俣市総合計画策定委員会

職 名	氏 名
総務課長	本田 真一
企画課長	川野 恵治 ◎
財政課長	坂本 禎一
税務課長	鬼塚 吉文
市民課長	久木田 美和子
環境モデル都市推進課長	久木田 一也
健康高齢課長	和田 恭子
福祉環境部次長 (福祉課長)	松本 幹雄
商工観光振興課長	関 洋一
農林水産振興課長	緒方 康洋
土木課長	松尾 健二
産業建設部次長 (都市政策課長)	遠山 俊寛
下水道課長	山田 雅浩
総合経済対策課長	松木 幸蔵
教育総務課長	高沢 克代
生涯学習課長	川添 泰則
水道局長	前田 仁
医療センター総務課長	深江 浩一郎

※ 表中氏名欄の◎は委員長。

#### (4) 第5次水俣市総合計画第2期基本計画策定プロジェクトチーム

作業部会	職 名	氏 名
政策Ⅰ 人と豊かな環境が共生するまち	環境モデル都市推進課環境モデル都市推進室参事	大崎 伸也 ◎
	環境モデル都市推進課環境モデル都市推進室主事	池崎 翔子
	環境モデル都市推進課簡易水道統合推進室参事	岡本 恵介
	環境モデル都市推進課環境クリーンセンター参事	福田 一哉
	農林水産振興課農業振興係主査	城 克久
	下水道課建設係主幹	金子 昌宏
政策Ⅱ 豊かさと活力を実感できるまち	農林水産振興課農業振興係参事	森 晋二
	農林水産振興課全国豊かな海づくり大会推進室主事	江崎 有紗
	商工観光振興課観光振興係係長	松下 尚史
	商工観光振興課観光振興係主事	田添 裕子
	総合経済対策課課長補佐	富田 茉莉
	総合経済対策課総合経済対策係係長	赤司 和弘 ◎
政策Ⅲ 安全で心安らかに、いきいきと暮らせるまち	総務課防災危機管理室主査	本村 広揮
	企画課地域戦略室主査	野中 省一
	市民課年金医療保険係参事	赤司 理絵
	健康高齢課高齢介護支援室参事	山内 啓子
	福祉課福祉推進室室長	山口 圭輔 ◎
	福祉課福祉推進室参事	大川 尊
	土木課土木係参事	前田 高広
	都市政策課都市政策係参事	濱野 徹
	水道局給水サービスグループリーダー	溝口 博史
総合医療センター総務課総務係参事	山口 健一	
政策Ⅳ 郷土の新しい公共を担う人を育てるまち	教育総務課総務係主事	向川 優平
	教育総務課学務係主幹	岩井 浩昭 ◎
	生涯学習課社会教育推進係主事	鬼塚 枝里
	生涯学習課社会教育推進係主事	川端 康平
	生涯学習課文化振興係係長	山内 一也
	生涯学習課スポーツ推進室参事	中村 香織
生涯学習課図書館主査	富吉 正一郎	
政策Ⅴ 自立した行政システムと市民参画のまち	総務課職員係参事	石原 美保
	総務課行政係主事	井上 皓介
	財政課財政係長	岩田 幸哉 ◎
	税務課市民税係参事	生駒 和美
	税務課固定資産係主査	境 真美

※ 表中氏名欄の◎は作業部会リーダー。

#### (5) 事務局（企画課政策推進室）

職 名	氏 名
企画課政策推進室長（企画課長）	川野 恵治
企画課政策推進室次長	梅下 俊克
企画課政策推進室次長	白本 亮
企画課政策推進室参事	宮本 珠美
企画課政策推進室参事	元村 仁美
企画課政策推進室主事	千々岩 健史



## 4 策定経緯

開催日	実施項目	内 容
平成 25 年 4 月 16 日	◎庁議	第 2 期基本計画の策定について
平成 25 年 5 月 7 日 ～ 6 月 3 日	既存事業に関する調査	各課から既存事業の資料（事業調書）収集 指標の達成度（数値）の実績調査
平成 25 年 5 月 9 日 ～ 5 月 25 日	市民意識調査の実施	16 歳以上、1,000 人を対象に郵送により実施 回収率 36.9%
平成 25 年 5 月 15 日 ～ 5 月 31 日	水俣市総合計画策定審議会（以下「策定審議会」と表記）委員 公募	策定審議会委員を若干名公募
平成 25 年 5 月 16 日	水俣市総合計画策定委員会（以下「策定委員会」と表示）設置	「水俣市総合計画策定に関する規則」に基づ き設置
平成 25 年 5 月 23 日	○第 1 回策定委員会開催	委員委嘱、策定方針（案）、スケジュール等 の説明
平成 25 年 6 月 5 日	◎庁議	策定委員会・策定プロジェクトチームの設置、 策定方針（案）等について説明
〃	第 2 期基本計画策定方針の決定	第 2 期基本計画の策定にあたり、基本的事項 を策定方針として決定
平成 25 年 7 月 24 日	第 5 次水俣市総合計画第 2 期 基本計画策定プロジェクトチ ーム（以下「策定 P T」と表記） 設置	「第 5 次水俣市総合計画第 2 期基本計画策定 プロジェクトチーム設置規程」に基づき設置
平成 25 年 7 月 30 日	策定審議会設置	「水俣市総合計画策定審議会条例」に基づき 設置
平成 25 年 8 月 2 日	こども議会ワークショップ	小学校 6 年生、26 人によるワークショップ
平成 25 年 8 月 12 日	○第 2 回策定委員会	第 1 期基本計画成果の検証、策定プロジェク トチームの設置等について説明
平成 25 年 8 月 13 日	□第 1 回策定 P T	総合計画の概要、策定方針、スケジュール等 の説明、作業部会リーダー決め
平成 25 年 8 月 13 日 ～ 8 月 27 日	□策定 P T 各作業部会	第 1 期基本計画成果の検証、策定補足調査シ ートの作成
平成 25 年 8 月 27 日	●第 1 回策定審議会	委員委嘱、総合計画概要、策定方針、スケジ ュール等の説明
平成 25 年 9 月 18 日 ～9 月 30 日	□策定 P T 各作業部会	第 1 期基本計画成果の検証作業
平成 25 年 10 月 16 日	□第 2 回策定 P T	第 1 期基本計画成果、施策の体系（案）等の 説明
平成 25 年 10 月 25 日 ～10 月 31 日	□策定 P T 各作業部会	施策の体系（案）作成
平成 25 年 11 月 1 日	◎庁議	第 1 期基本計画成果と今後の方向性、スケジ ュール等説明
平成 25 年 11 月 1 日 ～12 月 18 日	□策定 P T 各作業部会	素案作成
平成 25 年 11 月 8 日	○第 3 回策定委員会	施策の体系（案）等の説明
平成 25 年 11 月 12 日	◎庁議メンバー個別説明	施策の体系（案）等の説明
平成 25 年 11 月 27 日	資料説明会（策定審議会）	策定審議会委員への資料（第 1 期基本計画成 果と今後の方向性、市民意識調査報告書）説 明

開催日	実施項目	内 容
平成 25 年 12 月 20 日	◎庁議	素案、パブリックコメント実施等の説明
平成 25 年 12 月 25 日	●第 2 回策定審議会	諮問
平成 25 年 12 月 26 日 ～ 平成 26 年 1 月 30 日	パブリック・コメント手続き	※閲覧については平成 26 年 1 月 10 日より、市役所等 10 箇所を実施
平成 26 年 2 月 5 日	○第 4 回策定委員会	策定審議会委員意見に対する素案修正（案）
平成 26 年 2 月 7 日	●第 3 回策定審議会	素案に対する審議
平成 26 年 3 月 4 日	●第 4 回策定審議会	素案に対する審議、答申
〃	パブリック・コメント手続き結果公表	パブリック・コメント手続きに係る、「実施結果及び市の考え方」について、市ホームページ上で公表
平成 26 年 3 月 19 日	市議会	議案「第 5 次水俣市総合計画第 2 期基本計画策定について」議決



## 5 総合計画を各分野で推進する主な個別計画等

総合計画を推進するうえで、横断的かつ具体的な施策の展開を図る必要があります。

このため、特定の政策課題に対応した個別計画等を策定し、総合計画と連携しながら計画の推進を図ります。ここでは、個別計画等の一部を記載します。

### 政策Ⅰ 人と環境が共生するまち

名 称 [計画期間等]	概 要	所 管
第五次水俣・芦北地域振興計画 [平成 23 年度～平成 27 年度]	昭和 53 年の閣議了解「水俣病対策について」に基づく、水俣・芦北地域の各種振興施策を示した計画	熊本県
環境モデル都市づくり宣言 [平成 4 年度～]	水俣病の経験と教訓を活かし、自然の生態系に配慮した環境モデル都市づくりを目指し、水俣病の教訓を広く世界に伝えていくことを宣言したもの。	環境モデル都市推進課
水俣市役所環境方針 [平成 10 年度～]	自治体として、自らの自然環境への不可を減らすことはもとより、環境モデル都市の実現に向けた取組の強化を図り、地域及び地球環境の保全・再生等に向けて、継続的に環境の保全と改善に取り組み、持続可能な社会の構築を目指すことを謳ったもの。	環境モデル都市推進課
水俣市第 2 次環境基本計画 [平成 19 年度～平成 31 年度]	水俣市環境基本条例に基づく良好な環境を確保するための基本となる計画	環境モデル都市推進課
水俣市環境モデル都市行動計画 (アクションプラン) [平成 21 年度～平成 62 年度]	国の環境モデル都市認定に伴い、地球温暖化の防止に向けて、水俣市全体からの温室効果ガス排出量について、2005 年を基準として 2050 年までに半減させることを目標に掲げた計画	環境モデル都市推進課
水俣市地球温暖化防止実行計画 (チームマイナス 8%) [平成 26 年度～平成 31 年度]	地球温暖化の防止に向けて、公共施設からの温室効果ガス排出量を削減していくことを目標に掲げた計画	環境モデル都市推進課
ゼロ・ウェイストのまちづくり水俣宣言 [平成 21 年度～平成 38 年度]	水俣病の経験と教訓を活かした真の循環型社会の実現に向けて、ごみ処理を焼却や埋め立てにたよらないまちづくりの仕組みをみんなでつくっていくことを宣言したもの。	環境モデル都市推進課
水俣市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画 [平成 23 年度～平成 37 年度]	廃棄物処理法第 6 条第 1 項に基づく一般廃棄物(ごみ)の処理方針を定めた基本計画	環境モデル都市推進課
水俣市公共下水道事業計画 (事業認可計画) [平成 20 年度～平成 27 年度]	公共用水域の水質保全、生活環境の改善、浸水の防除を目的とした公共下水道整備計画	下水道課

## 政策Ⅱ 豊かさを実感できるまち

名 称 [計画期間等]	概 要	所 管
水俣市観光振興計画 [平成 23 年度～平成 32 年度]	水俣・湯の尻地区の観光振興における基本方針等を示した計画	商工観光振興課
湯の鶴観光振興計画 [平成 22 年度～平成 31 年度]	湯の鶴温泉の活性化方針等を示した計画	商工観光振興課
都市再生整備計画（水俣中央地区） [平成 22 年度～平成 26 年度]	湯の尻地区をはじめとした市街地における、観光・交流、地域コミュニティの活性化に向けた事業等を示した計画	都市政策課
水俣市公共施設・公共工事木材利用推進基本方針 [平成 24 年度～]	市が単独又は補助事業等により実施する公共施設・公共工事において木材の利用を一層促進し、この目的を民間業者、さらには市民まで波及させることを目的とした方針	農林水産振興課
水俣市森林整備計画 [平成 25 年度～平成 34 年度]	森林を健全な状態に整備、保全していくための森林整備の基本的な考え方及び森林施業の方法等を示した計画	農林水産振興課
水俣市森林施業計画 [平成 22 年度～平成 27 年度]	保育林の除間伐等を実施し、環境の保全や景観の維持向上等について、適切な森林整備を行い優良木生産を図る計画	農林水産振興課
水俣市中心市街地活性化基本計画 [平成 22 年度～平成 26 年度]	水俣市商店街の活性化方針を示した計画	商工観光振興課

## 政策Ⅲ 安全で心安らかにいきいきと暮らせるまち

名 称 [計画期間等]	概 要	所 管
水俣市地域防災計画 [毎年度見直し]	大雨、台風、地震、津波など各種災害に対する、予防、応急対応、災害復旧などに関する計画	総務課
水俣市健康増進計画（第 2 期） [平成 25 年度～平成 29 年度]	「健康寿命の延伸」を目指し、生活習慣病の発症予防と重症化予防、ライフステージに応じたこころと体の健康づくりの推進、個人の健康を支える社会環境整備を基本目標とした計画	健康高齢課
水俣市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画（第 5 期） [平成 24 年度～平成 26 年度]	高齢者に関する保健・医療・福祉施策を総合的に推進するために、高齢者や介護サービス事業所等を対象に調査を実施し、課題を分析・検討。それらを踏まえ、高齢者福祉及び介護保険事業に関する施策を示した計画	健康高齢課
水俣市地域福祉計画 [平成 17 年度～平成 26 年度]	支援が必要な人々が地域の中で生活するうえで解決すべき課題を明らかにし、必要なサービスやそれを提供する体制を整備することを目的とする計画	福祉課
水俣市次世代育成支援行動計画（後期） [平成 22 年度～平成 26 年度]	「子ども・子育て」等次世代育成に関する施策を総合的に示した計画	福祉課
橋梁長寿命化修繕計画 [平成 22 年度～]	経年劣化する橋梁群について、予防対策型の維持管理を行い、橋梁の長寿命化を図る計画	土木課
水俣市公営住宅等長寿命化計画 [平成 25 年度～平成 34 年度]	長期的な視点のもと、公営住宅等のライフサイクルコストの縮減につながる長寿命化のための建替事業方針及び維持管理方針を明らかにすることを目的とした計画	都市政策課

名 称 [計画期間等]	概 要	所 管
第2次水俣市水道事業経営方針及び中長期計画「みなまた・水・品質向上計画」(後期中長期計画) [平成24年度～平成28年度]	水俣市水道事業における経営目標「水」「サービス」「人」の品質向上を図るため、取り組む施策等を示した計画	水道局
水俣市簡易水道事業等統合計画 [平成21年度～平成28年度]	平成28年度までに東部地区及び久木野地区の5簡易水道及び6飲料水供給施設を上水道へ統合し、施設整備を実施することを示した計画	環境モデル都市推進課
水俣市都市計画マスタープラン [平成15年度～平成34年度]	都市の将来像を明らかにし、市民主体による都市づくりを示した計画	都市政策課

#### 政策Ⅳ 郷土の新しい公共を担う人を育てるまち

名 称 [計画期間等]	概 要	所 管
非構造部材耐震化計画 [平成26年度～平成32年度]	天井材や外壁、屋内照明等、構造体とは異なる非構造部材の耐震化を示した計画	教育総務課
水俣市人権教育・啓発基本計画 [平成22年度～]	水俣市における人権教育・啓発の基本となる計画	総務課
第2次水俣市男女共同参画推進計画 [平成22年度～平成26年度]	男女が相互に認め合い、対等な考え方のもとに、あらゆる分野に対等に参画できる社会づくりを推進する計画	企画課

#### 政策Ⅴ 自立した行政システムと市民参画のまち

名 称 [計画期間等]	概 要	所 管
水俣市第5次行財政改革大綱 [平成26年度～平成29年度]	効果的で効率的な行財政運営を行っていくうえでの基本的な方針をまとめたもの。	総務課
水俣市人材育成基本方針 [平成22年度～]	「市民とともに歩む、気概と使命感をもったプロフェッショナル」を目指すべき職員像とし、人材育成の方向性や具体的方策などを明らかにしたもの。	総務課

## 6 市民意識調査の結果（概要）

第5次水俣市総合計画第2期基本計画の策定にあたり、基礎資料を得るために「市政に対する要望」「市の取り組みへの満足度・重要度」「行政サービスのあり方」等を調査項目とする市民意識調査（アンケート）を実施しました。

### 【調査の概要】

(1) 調査対象者

市内に居住する16歳以上の市民（平成25年4月2日現在）

(2) 調査期間

平成25年5月8日（木）～5月31日（金）

(3) 標本数

1,000人（母集団 23,487人）

(4) 抽出方法

住民基本台帳から無作為抽出

(5) 実施方法

郵送発送、郵送回収

(6) 回答数

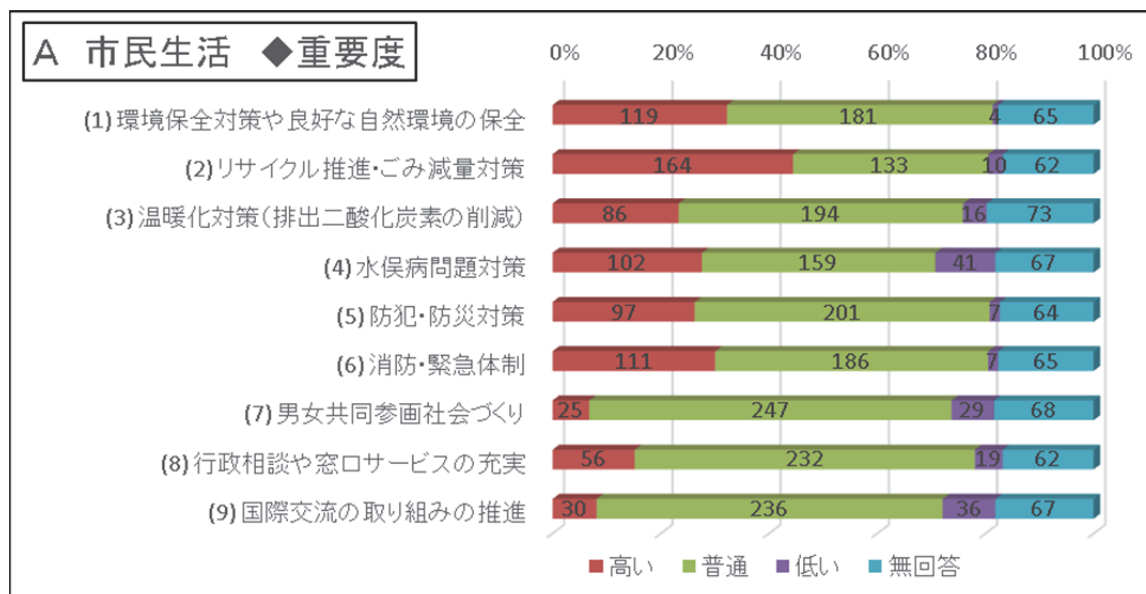
369件（回収率 36.9%）

### 【主な調査結果】

水俣市が実施している各分野の取り組みにおける重要度

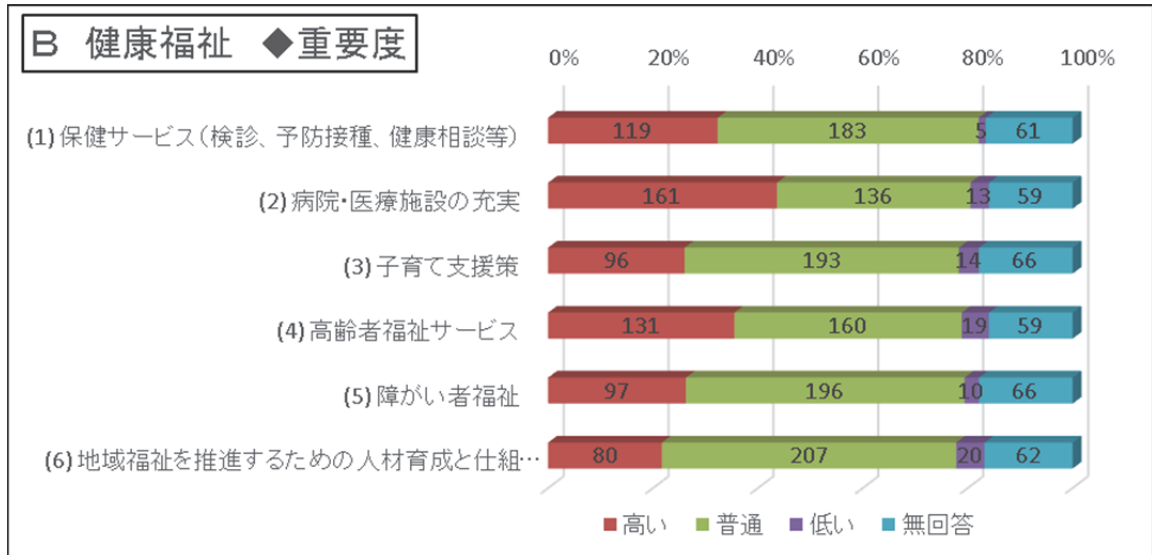
(1) 市民生活

「市民生活」分野においては、環境保全対策、地球温暖化対策などの環境関連、防災・防犯、消防・緊急体制などの防災関連、水俣病問題などの項目について「重要」と考える方が多く、前回調査とも共通する傾向となっています。



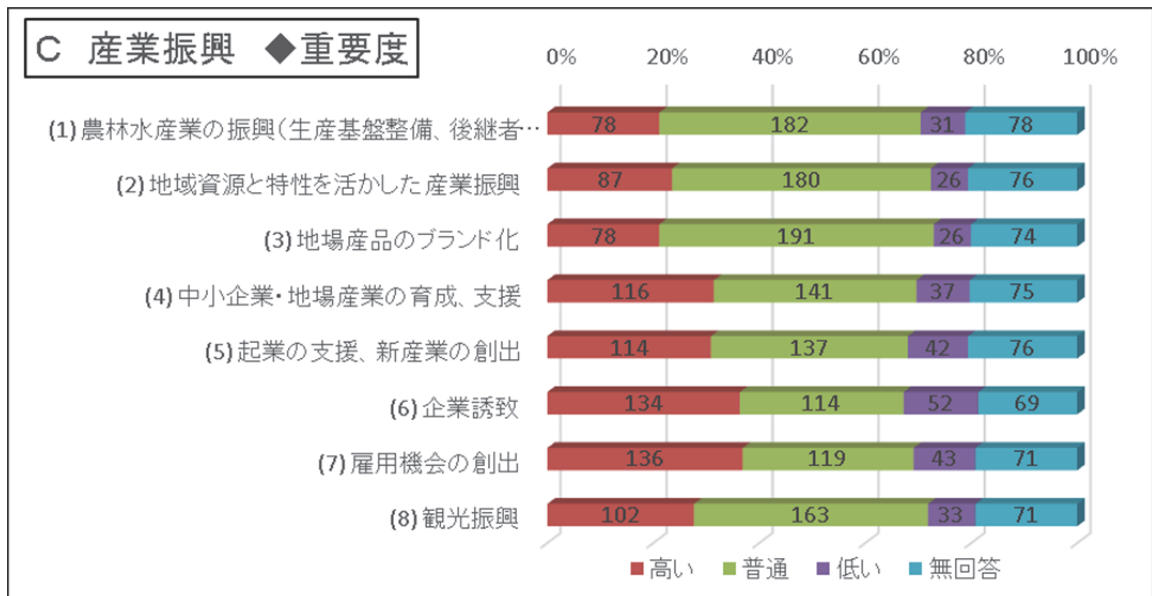
(2) 健康福祉

「健康福祉」分野については、病院・医療施設の充実、高齢者福祉サービス、保健サービスなど、全体に重要度が「高い」と考える人が多く、また、重要度が「低い」とする人も少なく、過疎化、高齢化が進むなか、医療・福祉施策の充実を求める市民の意識を読み取ることができます。



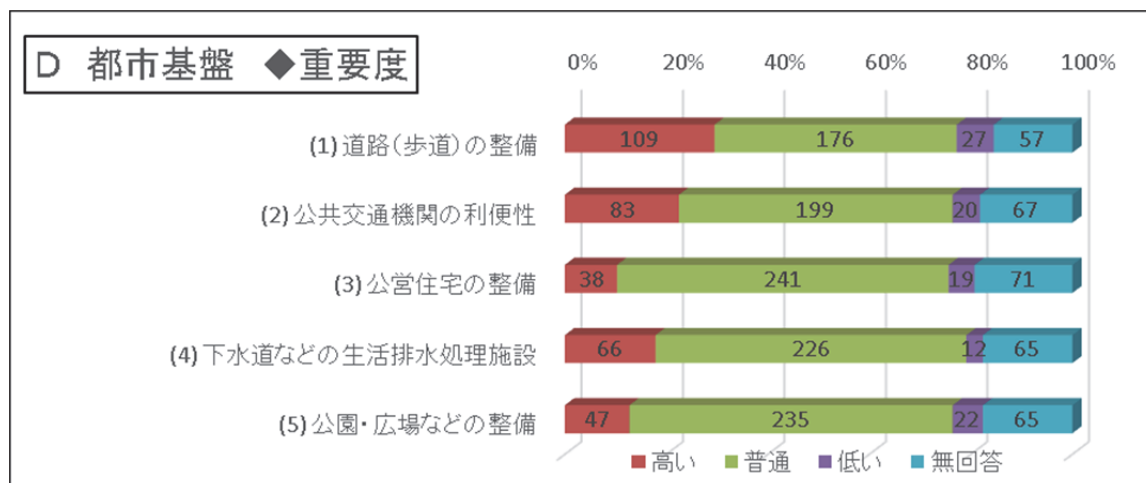
(3) 産業振興

「産業振興」分野については、各施策を「重要」と答えた人が多く、企業誘致、地場企業の育成、雇用機会の創出、観光振興など、厳しい経済状況のなか、地域経済の再生を望む市民の切実な意識を読み取ることができます。



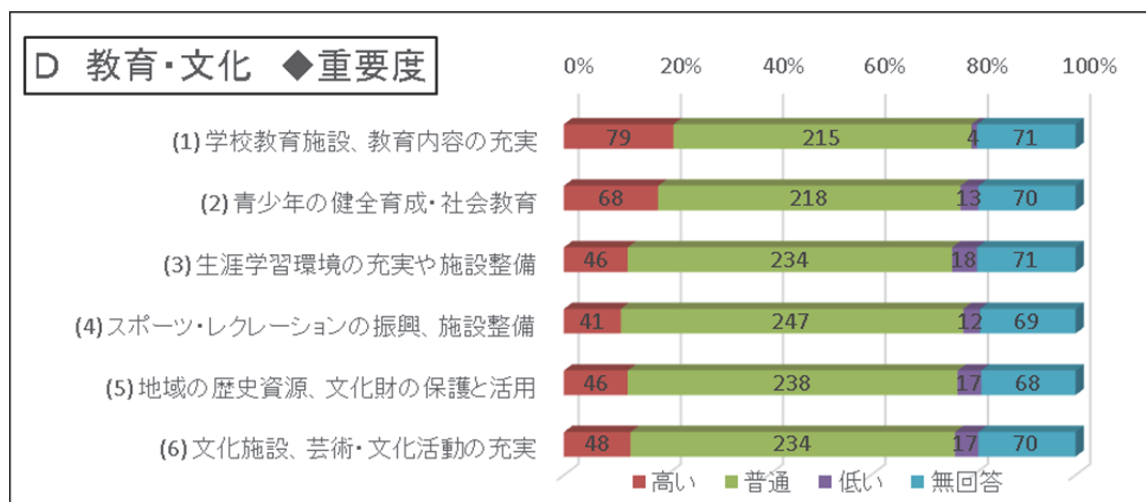
#### (4) 都市基盤

「都市基盤」分野については、前回調査と比して、道路整備を「重要」とする人の割合が上昇（+9.0%）しており、身近な社会基盤整備に関する要望を見て取ることができます。



#### (5) 教育・文化

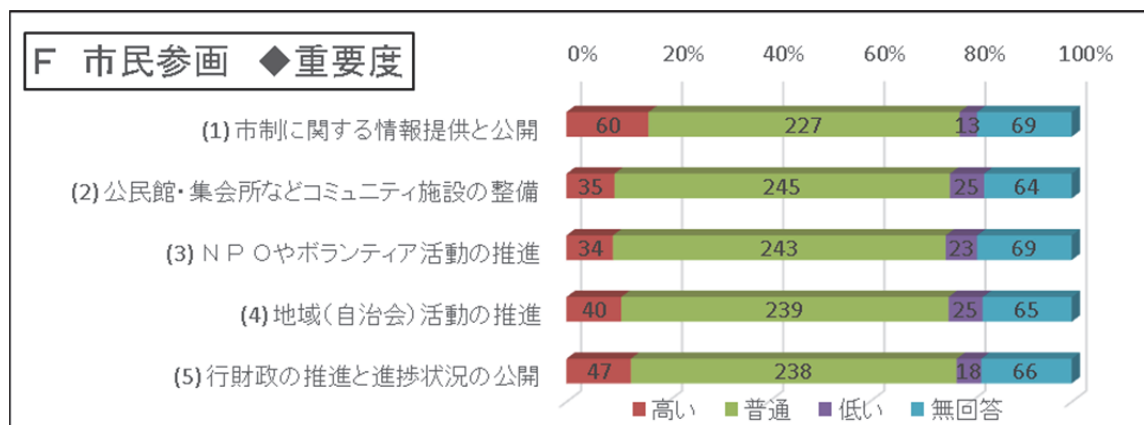
「教育・文化」分野については、学校教育の充実、青少年の健全育成・社会教育などについて「重要」とする人の割合は比較的高く、将来を担う世代の健やかな成長を願う思いが読み取れます。





(6) 市民参画

「市民参画」分野については、情報公開の推進に関する項目について「重要」とする人の割合が高くなっています。



第5次水俣市総合計画  
第2期基本計画

お問い合わせ：  
水俣市企画課

〒867-8555 熊本県水俣市陣内1丁目1番1号  
TEL 0966-61-1606 FAX 0966-62-0611  
<http://www.city.minamata.lg.jp/>





## 第5次水俣市総合計画第2期基本計画

### 人が行きかい、ぬくもりと活力ある「環境モデル都市みなまた」

---

平成26年3月発行

熊本県水俣市

〒867-8555 熊本県水俣市陣内1丁目1番1号

TEL 0966-61-1606 FAX 0966-62-0611

HOME PAGE <http://www.city.minamata.lg.jp/>